

なおし  
平田直先生はこんな  
研究をしています



## 首都圏を襲う地震の姿に迫る

～首都圏でのプレート構造調査、震源断層モデル等の構築等～  
東京大学地震研究所 所長 平田直

関東地方は地震の巣、  
世界で最も多い場所

関東地方は、世界で最も地震の多い場所の一つです。この地域では、有感地震が1カ月に約1個の割合で発生。

明治時代以降、5個のマグニチュード(M)7程度の大地震が発生し、大きな被害をもたらしています。

関東地方で地震が多い理由は、2つの大陸プレート（ユーラシアプレートと北米プレート）の下に、2つの海洋プレート（太平洋プレートとフィリピン海プレート）が沈み込むという4枚のプレートが交錯する世界で唯一の地域であるからです。

首都圏に400箇所の  
地震観測点を構築中

デジタルカメラは画素数が多いと画像が鮮明になるのと同様に、地下構造を詳しく知るには、より多くの地震観測点を密に配置することが必要です。これまで約20km間隔だったものを約2～5kmで配置し、これまで以上に鮮明に得られるようになったそうです。現在、400箇所の観測点をもつ首都圏地震観測網（MeSO-net）を構築中といいます。

最近400年間の  
地震活動

関東地方はこれまでに大正関東地震（1923年）や元禄関東地震（1703年）のようなプレートの境界で発生するM8級の巨大地震が繰り返してきました（下図）。

巨大地震と巨大地震のあいだの期間には、M7級の大地震が発生し、江戸や東京に大きな被害をもたらしてきました。

昨年9月の時点での観測データから、4年以内に70%の確率と発表し衝撃が走りました。

地震に対する備えが大事だね。

